



特集

行政連絡会

— 質疑応答抜粋 —

5月21日・24日・25日に、中央公民館・香美市基幹集落センター（香北町）・奥物部ふれあいプラザの各会場で、令和4年度香美市行政連絡会が開催されました。

184（土佐山田121・香北39・物部24）ある自治会のうち116人の自治会長が出席し、市から、予算や補助金、移住定住促進などの説明がありました。その後の質疑応答（抜粋）について、要旨を紹介します。

土佐山田町の住居表示について

問 土佐山田町〇〇番地とある表示を誰もが分かりやすいよう、大字・小字を表示して地区・部落が分かるようにしてほしい。

答（市民保険課） 土佐山田町内で字名のない行政区は、前山、北本町上1丁目、北本町1丁目から3丁目、北組西、中組、南組、古町1・2丁目、黒土2号、県住で、令和4年3月末現在、2243世帯です。一般的に大字や小字の有無や名称については、全国的な統一の基準や、明確な変遷の経緯があるわけではありません。

行政区域名や長く地域の方に使われている名称が住所と一緒にないため、わかりにくい住所がありますが、自身での手続きが必要となる免許証や通帳等各種の住所変更手続きも含め、住居表示実施により、住所が変更となる場合に伴う影響を考えると、現在のところはこのままでおくことが望ましいと考えます。

今後、新たに住居表示区

依光新市長の5年ビジョンは

問 新市長になったの市の目標、優先取り組み項目、5年ビジョンを問う。

答（市長） 香美市は、多くの可能性を秘めたまちであり、アイデアや知恵を持った市民の皆さんの協力を得ることができれば、人口減少を克服し、さらに発展できると考えています。

市長としてのこれからの目標について、ビジョンを示すため政策集を作成しました。先人から受け継いだ伝統と文化を守りつつ、香美市に住みたい・住んで良かったと思っていただけまちづくりを行いたいと考えています。基本的にはこれまでの取り組みを引き継ぎつつ、住民の皆さんのアイデア・知恵を活かし、新しい取り組みも徐々に取り入れていきます。



新市長の考える3つの柱

人づくり — 人が輝く香美市 —

小中高校大学はもちろん、社会人の方にも新しい図書館等を通じて学んでいけるようにしたい。

市役所職員、特に若手職員の研修等を通じて能力向上を図り、その結果として市民サービスの向上につなげる。

絆づくり — 多様な人と地域がつながる香美市 —

コロナ禍で人と人との触れ合いができなくなっている現状から、夏祭りや敬老会を通じてウィズコロナ時代を見据えて住民の皆さんの交流を推進したい。

香美市の農産物や工業製品などの販売、観光地へ来ていただくことで、市外・県外の方々との交流を進めたい。トップセールスを積極的に行う。

夢づくり — 新しい価値を創造する香美市 —

工科大との連携等を通じて、色々なチャレンジを行う先進的なまちにしたい。

来場者が安心して屋外施設を楽しめるように施設の磨き上げを実施する。

域として指定することについては、まちづくりの観点や住民のメリット、デメリットなどを慎重に検討し、総合的に判断することが必要と考えます。

国道195号の早期供用開始を

問 合併以前から各町村長・住民は国道195号バイパス（土佐山田町北本町・同町杉田）の早期供用開始を切望してきた。一部は工事に着手したようであるが、新市長として若い力、強力な指導力で、県市一丸となつて懸案の早期解決をお願いしたい。

答（建設課） 山田バイパスについて昨年度から、佐野工区の工事に着手しました。用地等の問題もあることから、進捗していませんが、今まで以上に県と協力し、進めて行かなければならないと考



えています。

県道宮ノ口深淵線について

ルート等の検討課題もあり、現在進んでいない状況です。今後、神母ノ木地区などのまちづくりには、絶対必要な路線のため、県に要望を行い、今までの以上の協力体制で進めて行かなければならないと考えています。

側溝の掃除と雑木の除伐を

問 山間部の林道・市道の側溝に木の枝や葉がつまり、大雨の時道路にあふれ、山林や畑に流れ込み、災害が起きているという苦情が出ているので、掃除をお願いしたい。

また、道路に垂れ下がる雑木の除伐をお願いする。

移住者に集落維持活動への参加を

問 移住者の多くは都市部から来るため、中山間地で古くから行われている集落維持活動（水路整備作業等）について事前に何の知識もないため、単にボランティア作業を強制されていると解釈される可能性がある。

地域の人たちにとって当たり前の認識を移住者と共有するため、資料作りや意見交換の機会が必要ではないかと考える。

答（建設課） ご指摘の通り、一部災害等の起因と考えています。

現状では、職員等による道路パトロールでは追いついていません。そのため、大変ご迷惑をおかけしますが、地域から情報をいただけると幸いです。

予算等もあり、十分な対応が取れない場合もありますが、地域と協議を行い対応していきます。

雑木については、原則として、所有者に伐採等をお願いしていますが、個人で出来ない場合など、また通行に支障となる場合は、地域と協議を行い対応していきます。

問 移住者の多くは都市部から来るため、中山間地で古くから行われている集落維持活動（水路整備作業等）について事前に何の知識もないため、単にボランティア作業を強制されていると解釈される可能性がある。

地域の人たちにとって当たり前の認識を移住者と共有するため、資料作りや意見交換の機会が必要ではないかと考える。

答（定住推進課） 市の空き家バンクの利用者の方には、空き家を内覧いただく前に必ず、自治会等に参加いただくことと、自治会の行事には参加いただくようお願いしています。それを了承いただいた上で内覧し、気に入った物件があれば購入していただくという流れになっています。

また、居住する前には必ず自治会長（班長の場合もあり）と面談する機会を設けています。この面談の際に、自治会ごとの年会費や、行事ごとを説明していただくようお願いしています。



▶ 移住相談会の様子